

夢、私たちに。

わたしのひとこと



全ての方々へ

堀之内 平林 克浩

去る11月22日、あの地震により、私達の地区は大変大きな被害に見舞われました。あの凄まじい揺れ、夜が明けてからの光景は一生忘れる事は出来なんでしょう。懸命に地域住民と助け合い、奇跡的にも犠牲者が出なかった事は本当に良かったです。とりわけ、行政の方々には地震発生直後から、昼夜を問わずご尽力を頂き感謝しております。

また村内外問わず、多くの方々に支えられ、大変有り難く思っております。雪が解け、いよいよ復旧作業が本格化してきます。まだまだ時間がかかりますが、一日も早い復興を願います。支援して下さった全ての方々に心から感謝し、自分に出来る事は協力していこうと思っております。

本当にありがとうございました。



子どもと共に感動を

深空 郷津 達也

長野市の会社でシステムエンジニアをしている。今年も理系の学生が入社した。理系離れといわれる昨今、貴重な人材である。

子どもたちは元来好奇心に溢れていて、動物、昆虫、車、ロボットなど生物や科学が大好きである。しかし、学校で習う数学や理科はなぜか不人気だ。今にして思えば、数学が何の役に立つのか、あまり教わった覚えがない。もちろん、純粋に数が好きで学問として突き詰める人もいるだろうが、勉強に意味が見出せないと離れて行くのは当然だ。

3DSが動く仕組み、携帯で話ができる謎など、身近な物に数学や理科が深く関わっている事を伝えれば、興味が湧くのではないか。傍らで子どもの感動に共感できる人の存在も、子どもの興味・関心を育て、持続させる上で重要だという。親として子どもと共に感動できるピュアな心を持ち続けたいものである。



風が運ぶ

新田 丹羽 宙子

白馬の初夏から秋にかけて、優しい風が吹く時があります。

私の大好きな季節です。人々もエネルギーギッシュに活動してパワーを貰います。バザーもその一つで楽しみに出掛けて行きます。何年か前に「クリンソウ」を一鉢買い、庭に移植をし、その2年後位にクリンソウの所あたりからスーッと背の高い草が生えてきました。80センチ程伸びたその草は小さな白い花をつけています。ある時、その花に8頭程の蝶が来て、花や葉にとまったり飛んだりしています。早速「歩く植物図鑑」の異名を持つ友人に写メして聞くと、花は「フジバカマ」で蝶は「アサギマダラ」という渡りの蝶で、九州の方まで渡って行く蝶だという事がわかりました。

すごい！テレビで見る様な光景が自宅の庭で見られるなんて！

優しい風に吹かれながら、ずーっとフジバカマとアサギマダラを見ていました。

編集後記

春。新たなシーズンに臨まれる方も多いと思います。それぞれの皆さまにお慶びを申し上げ、ご活躍を期待いたします。

今冬は雪が深く、春が待ち遠しかったのですが、雪解けとともに、冬の間さらに壊れた被災家屋があらわになり、ここからが本当の復興だと思えます。合わせて、新たなスタートを切る白馬高校や、検討に入った給食共同調理場のことをはじめ、観光、経済環境や農業、医療、福祉のこと等々、常に変化する局面に対し、研修を重ねながら柔軟な議論をしていきたいと思えます。議会改革への取り組みも始まりました。皆さまの率直なご意見をどうぞお寄せください。

(篠崎 久美子)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 横田 孝穂 |
| 委員長 | 太田 伸子 |
| 副委員長 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 松本喜美人 |
| 委員 | 伊藤まゆみ |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 北澤禎二郎 |